

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年3月30日～2019年4月5日の推移】

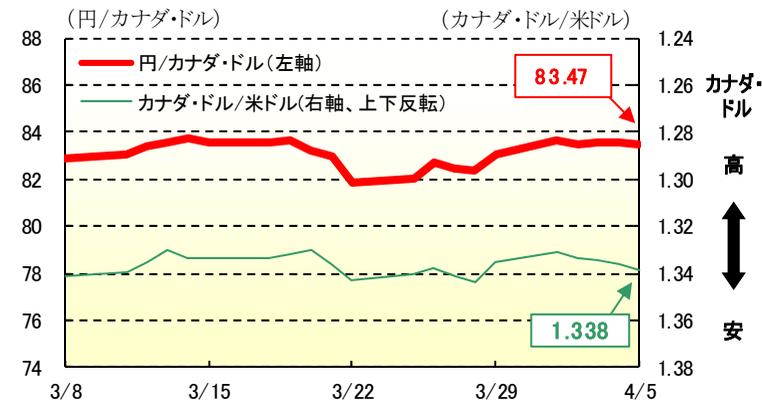
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

米中の製造業指数が良好な結果になったことなどを背景に世界景気への過度な減速懸念が後退し、カナダの金利は上昇、カナダ・ドルは対円で上昇しました。原油価格の上昇も相場を後押ししました。

経済指標では、雇用統計が発表され、雇用者数は予想に反して前月から減少しました。しかし、7か月ぶりの減少であり、今までの増加の反動の範囲内であることから、雇用情勢は依然として底堅いと見られています。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年3月8日～2019年4月5日)



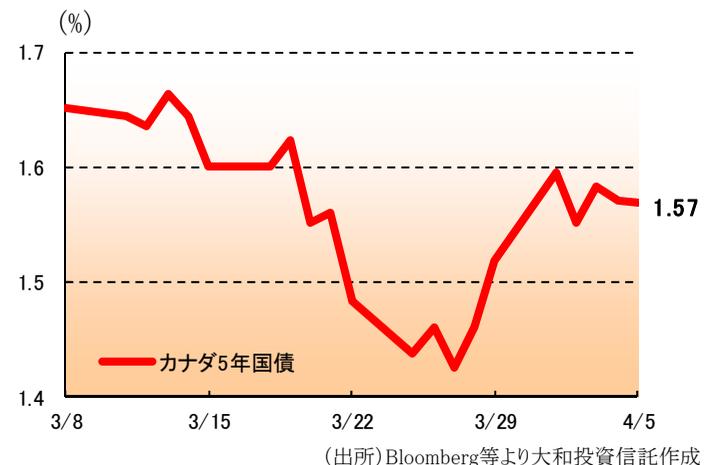
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは住宅関連の指標が複数発表になる予定です。米国ではCPI(消費者物価指数)の発表が予定されています。足元では、トランプ米大統領がFRB(米国連邦準備制度理事会)に対して、低インフレを理由に利下げやQE(量的金融緩和)を要求しています。CPIが市場予想を下回る結果になれば、市場の利下げ観測が強まることが予想され、米国金利の低下圧力の強まりを背景にカナダの金利の上値を抑えることが考えられます。

しかし、原油価格に関しては、産油国リビアでの軍事紛争を背景にリビア産原油の供給が減少し、需給が改善するとの思惑などから上昇基調となっているため、カナダの金利、通貨を下支えすることが予想されます。

【カナダ 金利推移】 (2019年3月8日～2019年4月5日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>